



若葉小だより

No.480 11月号
令和5年10月24日
調布市立若葉小学校
校長 内藤 みゆき

HP <http://www.chofu-schools.jp/wakaba-sho/> E-Mail wakaba-sho@chofu-schools.jp

『60周年スローガン』いつまでも変わらない 笑顔かがやく わかばっ子』



「愛も希望も 輪になって輪になって 空にひろがる」

校長 内藤 みゆき

10月12日、秋晴れの青空の下、全校児童が一堂に会し、60周年記念集会が行われました。代表委員の子どもたちが「過去・現在・未来」の若葉小学校をテーマに、過去の資料や事前アンケート結果に基づいたクイズを出題したり、たてわり班で協力して輪くぐりゲームを行ったり…代表委員とたてわり班リーダー・副リーダーが本当によく頑張って事前準備を進め、笑顔あふれる素敵な集会になりました。最後に行われたバルーンリリースを見上げる子どもたちのきらきらした瞳と笑顔には、楽しかった集会の充足感が表れていました。



19日には60周年記念式典が行われ、児童代表として5、6年生が大変立派な態度で参列し、来賓の方々からお褒めの言葉を沢山頂戴しました。他学年は、23日の朝会後に、式典の中で6年生が披露した呼びかけと合唱の映像を各教室で視聴しました。

さて、表題の言葉は本校校歌の一節です。校歌は開校5周年を記念して作られることとなり、昭和43年5月1日に発表されました。当時、PTA会長で声楽家・作曲家として活躍されていた間紀 徹氏に作曲を依頼し、詞は一般公募で選定したとのこと。選ばれた詞の作者は先崎 典子氏。なんと作曲者の奥様で、匿名で応募していたものが選ばれたそうです。公正な審査結果に疑念を生じさせてはいけないと、作曲者名は芸名の「間紀 徹」（本名 先崎 正公）、作詞者名は「先崎 典子」としたのだそうです。歌詞が正式に決定されるまでのやり取りの中には「小学校の校歌に愛という言葉が入るのはまずいのでは…」という意見も出たそうです。確かに、今でこそ日本人が「愛」という言葉を口にしても、違和感を感じなくなってきましたが、私が子どもの頃（昭和の時代）は、どこか羞恥心を感じさせる“大人びた言葉”だったように思います。作詞者の先崎氏は、先の意見に対して、文豪ビクトル・ユーゴー作「レ・ミゼラブル」のジャン・バルジャンの話を引き合いに彼のコゼットへの愛について述べ「死の間際に『人生は愛がすべて』と言っています。ユーゴーはその一言を云いたいためにあれだけの膨大な小説を書いたのではないのでしょうか。」と語り、審査の方々の納得を得たのだそうです。

「人生最大の幸福は、愛されているという確信である」というユーゴーの言葉の通り、保護者の方々を始め、地域を含む学校関係者やこれまで学校に携わってきて下さった方々からの大きな愛に包まれ、のびのび育っているわかばっ子たち。

「愛が大切」という作詞者 先崎氏の雄大なメッセージを受け継ぎながら、これから先も「愛」や「希望」が「空にひろがる」学校にしていきたいと思ひます。



本校の学校だよりはSDGs(ESD)・GIGAスクール構想を鑑み、ペーパーレス化や校務改善等の観点からデジタル配信のみとしております。発行日には安全・安心メールにてお知らせいたします。

11月の生活目標「自分からすすんであいさつをしよう」

生活指導主任

昨今は話す力が重視される余り、むしろ「聞く力」が弱くなっているのではないかとされています。聞く力とは、相手とやり取りをすること、当たり前のように相手の話を聞いて、相槌を打つこと。相手に「あなたは一人じゃないよ」と感じさせることです。

相手との関係性がうまくいっている時は、聞くことは当たり前前にできるから気になりません。気になるのは、相手との関係性がぎくしゃくした時です。ぎくしゃくしてから改めて聞こうと思っても、うまくいきません。相手の話を聞く余裕がなくなるからです。

どうしたら相手との関係性を回復できるか。どうしたらまた以前のように楽しく話せるか。コミュニケーションの扉を開く、最初の一步になるのが、実は普段のあいさつかもしれません。あいさつには、自分の心の扉を開き、相手に入ってきてもらうスペースを作る力があります。何気ない「おはよう」が、関係性を回復させます。

日頃から明るく元気なあいさつが飛び交う、そんな学校を目指して声をかけていきたいと思います。今月もよろしくお祈りします。

わかばステージについて

特別活動部

本校の2学期の大きな行事であるわかばステージは、1・3・5年生が音楽、2・4・6年生が学習発表を行います。そして、今年のスローガンは『1人1人が主役！笑顔輝く、最高の発表にしよう！』です。児童1人1人の主体性や創造性を伸ばしながら、友達の良さを認め合えるわかばステージにしていきたいと思えます。

参観は各家庭2名まで、出番ごとの入れ替え制となります。一生懸命に表現する姿をぜひご覧ください。

詳細は、後日別途配布のお知らせをご覧ください。皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

日程 11月16日(木)・17日(金) 児童鑑賞日

18日(土) 保護者鑑賞日

場所 本校体育館

個人面談について

教務主任

個人面談は、学校と家庭との貴重な情報交換の時間です。ご多用の折とは存じますが、ご来校くださいますよう、お願いいたします。

日程 11月30日(木)～12月6日(水) 5日間

時間 13:45～16:00

場所 各教室

内容 学校と家庭との情報交換等

※学級によって実施日や時間が異なりますので、ご注意ください。日時決定のお知らせが配られましたら、ご確認ください。

学級閉鎖に伴う補充の授業について

副校長

学級閉鎖により授業を行うことができなかった時数が多い学級を対象に、下記の通り補充を行います。急な連絡となりますが、ご理解いただきたくよろしくお願い申し上げます。なお、予め参加できない予定のあるご家庭は、担任への連絡をお願いいたします。

4年2組と5組 11/6の6h, 11/13の6h, 11/22の5h

3年4組と5組 11/22の5h

また、個人面談期間中の第5校時の実施を検討中です。決まりましたら、安全安心メールでお知らせします。

11月の行事予定



日	曜	主な行事
1	水	ふれあい月間始 あいさつ運動週間始 わかばステージ特別時程始 4時間授業◎ おはよう読書
2	木	
3	金	文化の日
4	土	東京都教育の日
5	日	
6	月	全校朝会 安全指導日 4年5時間授業 (4年2,5組は6時間)
7	火	
8	水	おはよう読書
9	木	
10	金	
11	土	
12	日	
13	月	全校朝会 あいさつ運動週間終 4年5時間授業 (4年2,5組は6時間)
14	火	
15	水	わかばステージリハーサル 1～4年4時間授業 5・6年5時間授業 おはよう読書
16	木	全学年5時間授業 わかばステージ①(児童鑑賞日)
17	金	全学年5時間授業 わかばステージ②(児童鑑賞日)
18	土	1～5年4時間授業 6年5時間授業 給食あり わかばステージ③(保護者鑑賞日)
19	日	
20	月	振替休業日
21	火	
22	水	おはよう読書 全学年4時間授業 (3年4,5組, 4年2,5組は5時間)
23	木	勤労感謝の日
24	金	3・4年遠足
25	土	
26	日	
27	月	全校朝会 4年5時間授業 委員会活動
28	火	たてわり班活動
29	水	全学年4時間授業◎ おはよう読書
30	木	ふれあい月間終 児童集会 個人面談始 全学年4時間授業

◎中休み10分

※下校時刻については、各学年便りをご覧ください。

※避難訓練は11月より予告なしで行います。



日光移動教室の思い出



僕は、この日光移動教室で、集団生活の難しさが分かりました。例えば、楽しくなりすぎて正しい判断ができなくなったり、皆の意見が合わなかったり、普段は分からない大変さがありました。それでも班の皆と協力して時間などを意識して行動しました。協力したことによって楽しい日光移動教室になりました。

6年1組

私の日光移動教室の係は、「食事」でした。15分前に食堂に行き、準備することが仕事でした。日光移動教室に行く前は、あまり大変だとは思っていなかったけれど、実際に行ってみると結構忙しく、焦ることもありました。ですが、友達と助け合うことで乗り越えることができました。今回の移動教室では改めて友達の大切さと、協力することの大切さを実感することができました。

6年1組

私はこの日光移動教室で、友達とより仲良くなることができました。今まで話す機会が少なかった人と、班や係が同じになり、話す機会ができたことがきっかけとなり、今まで以上に仲良くなれました。

移動教室で得た友達との「絆」を残りの小学校生活やわかばステージで発揮し、最高の思い出をみんなで作りたいです。

6年2組

日光での体験一つ一つが普段味わうことができない貴重なものでした。例えば、友達と寝食を共にすることの楽しさや現地で見ることのできない自然、東照宮などの歴史的な建造物を目で見て、肌で感じることができました。これから、総合の時間で五年生に、日光の魅力や学んだことを伝えられるように頑張りたいと思います。

6年2組

僕が日光移動教室で最も楽しかったことは、戦場ヶ原ハイキングです。理由は自然に囲まれた環境を歩くのが好きだからです。また、自然を守る大切さも学びました。

一部の木には、シカやクマによる被害を防ぐためのあみがつけられていました。人間ではなく動物にも気を付けることが大切だと知りました。

6年3組

日光東照宮は、見た瞬間にひきこまれるくらいの迫力だった。どの建物にも細かくてきれいな彫刻がたくさんあって、その中でも三猿が心にのこった。一番最初の猿は、木の上に立って遠くを見ている親の姿だった。また、漢字が取り入れられていたり、一周すると、一番最初に戻ったりする発想に驚いた。生き物の一生を表しているこの彫刻を私は忘れない。

6年3組

僕が日光で学んだことは、5分前行動の大切さです。最初は5分前行動を難しく感じていましたが、3日間過ごす中で慣れていきました。「昨日より今日、今日より明日」という気持ちをもつことで学年みんなで「1UP」していきました。3日間の中で学年みんなが5分前行動ができるようになって嬉しかったです。普段の生活でも心がけたいです。

6年4組

僕は、この日光移動教室で最高の思い出を作ることができました。しかし、全てが上手くいったわけではなく、周りを見るなどの課題もありました。それを目標にして改善できるよう、みんなで「1UP」できるよう頑張りました。そして、最高の思い出を作ることにつながることができました。友情も深まり、楽しい移動教室になりました。

6年4組

～60周年の取り組み～

周年記念集会



式典



校内装飾など

